

## 数量の関係を文字式に表す

具体的な数や言葉を使った式を利用したり図に表したりして事柄や数量の関係を捉え、その関係を文字式に表すことができるようにすることが大切です。

教科書等では、第1学年の文字を用いた式を確認しながら取り組んでみましょう。

(1) 5 mの重さが a g の針金があります。この針金の 1 mあたりの重さは何 g ですか。 a を用いた式で表しなさい。

【平成29年度全国学力・学習状況調査 数学A $\square$ 2(1)】

<解答>

(2) 1本 a 円の鉛筆を8本買うのに、1000円札を出したときのおつりを、 a を用いた式で表しなさい。

<解答>

(3) ある数を3でわると、商が a で余りが2になります。ある数を、 a を用いた式で表しなさい。

【平成28年度全国学力・学習状況調査 数学A $\square$ 2(1)】

<解答>

## 数量の関係を文字式に表す(解答)

具体的な数や言葉を使った式を利用したり図に表したりして事柄や数量の関係を捉え、その関係を文字式に表すことができるようにすることが大切です。

教科書等では、第1学年の文字を用いた式を確認しながら取り組んでみましょう。

(1) 5 mの重さが a g の針金があります。この針金の 1 mあたりの重さは何 g ですか。 a を用いた式で表しなさい。

【平成29年度全国学力・学習状況調査 数学A<sup>2</sup>(1)】

<解答>  $\frac{a}{5}$

針金の長さが 5 mのときの重さが a g であるので、針金 1 mあたりの重さは、 $a \div 5$  で求められます。

(2) 1本 a 円の鉛筆を 8本買うのに、1000 円札を出したときのおつりを、 a を用いた式で表しなさい。

<解答>  $1000 - 8a$

(3) ある数を 3でわると、商が a で余りが 2 になります。ある数を、 a を用いた式で表しなさい。

【平成28年度全国学力・学習状況調査 数学A<sup>2</sup>(1)】

<解答>  $3a + 2$

(ある数)  $\div 3 = a$  余り 2 という数量の関係は、(ある数)  $= 3a + 2$  と表すことができます。小学校でも、わり算の学習で「割られる数 = 割る数  $\times$  商 + 余り」を学びましたね。